

第2章 ご意見を受けての「素案」修正点一覧

次ページの「見え消し版」もご参照ください。

パブリックコメントの結果を受け、「素案」の内容を以下のとおり修正します。（計4か所）

| 番号 | 修正する箇所と内容など | |
|------------|--|--|
| 1 | 3 実現の方向性と取り組み (4) 横浜ならではの魅力を創造し都市の活力を高めよう | |
| | 修正前 [素案] | ア 横浜の立地条件を生かし、空港、港、道路、鉄道が一体的に機能するまちをつくり、活力ある産業の集積や、新たな産業の創出に積極的に挑戦し、活力と競争力のあるまちを目指しましょう。 |
| | 修正後 | ア 横浜の立地条件を生かし、空港、港、道路、鉄道が一体的に機能するまちをつくり、活力ある産業の集積 とともに 、新たな産業 や観光資源 の創出 と活用 に積極的に挑戦し、活力と競争力のあるまちを目指しましょう。 |
| | 考え方 | ・素案には、「歴史的建造物」や「先進的な都市景観」、「活発な文化芸術活動」など、横浜の観光資源に関する表現は散在しているが、「観光」という単語は盛り込んでいなかった。 ・横浜の活力増進に向け、経済の活性化だけでなく、観光地としての発展を目指すべきとのご意見を受け、「新たな産業」だけでなく「観光資源」も創出するとともに、活用していく視点を加える。 |
| いただいたご意見の例 | ●観光立国日本の受け入れ口横浜は活気に満ちた明るい安全な街として大勢の観光客が楽しんでもらえる街にしたいですね。 ●開港150周年の歴史の上に、異文化との融合で新しい文化を創り育て、産業を興し活力ある都市を目指す。（反映意見全52件） | |
| 2 | イ 横浜の活力の源である港の魅力を高めるために、アジアや世界に貢献する物流機能だけでなく、海に親しめる憩いの機能も高めていきましょう。 | |
| | 修正後 | イ 横浜の活力の源である港の魅力を高めるために、アジアや世界に貢献する物流機能 の強化とともに 、海に親しめる憩いの機能も高めていきましょう。 |
| | 考え方 | ・ご意見を受け、港の主たる機能である「物流機能を強化する」という視点をより明確に示す。 |
| | いただいたご意見の例 | ●横浜港の国際的競争力を高めていく必要があると思う。 ●横浜港の更なる発展が大切。物流機能の強化は不可欠。（反映意見全31件） |
| 3 | ウ 環境に配慮した事業活動や技術開発、消費が活発に行われるまちを目指しましょう。 | |
| | 修正後 | ウ 環境に配慮した事業活動や技術開発、消費が活発に行われる とともに、豊かな自然環境と、都市活動が持続的に共存できる まちを目指しましょう。 |
| | 考え方 | ・素案では、「豊かな自然環境」と、経済の活性化やまちづくりの視点は別々に盛り込まれている。 ・横浜ならではの魅力づくりとして「自然環境と、経済活動や都市整備などが両立できる都市を目指すべき」とのご意見を受け、環境と、それに関する事業活動等が両方盛り込まれている当該部分に盛り込む。 |
| | いただいたご意見の例 | ●環境と創造都市、相反するがどちらも大事なものです。どちらにも傾きすぎず調和がはかれるように思います。 ●産業そのものが文化として人に潤いをもたらす環境に配慮しながら節度をもって発展していくのが望ましいと思う。（反映意見全52件） |
| 4 | 3 実現の方向性と取り組み (7) 暮らしやすい快適なまちづくりをしよう | |
| | 修正前 [素案] | ア 多様化するライフスタイルや、地域の特性に応じた質の高い住環境が整ったまちを目指しましょう。 |
| | 修正後 | ア 多様化するライフスタイルや、地域の特性に応じた質の高い住環境 と効率的な交通体系が備わった まちを目指しましょう。 |
| | 考え方 | ・素案には、「空港・港・道路・鉄道が一体的に機能するまち」を目指す視点を盛り込んでいるが、「交通」という単語は盛り込んでいなかった。 ・「暮らしやすい快適なまち」のためには、「質の高い住環境」とともに、地域の特性に応じた「効率的な交通体系」も必要であるとの趣旨のご意見を受け、内容を追加する。 |
| いただいたご意見の例 | ●郊外部の分譲地では、高齢者の一人暮らしが増え、特に交通不便な地域では空き家となっている。交通利便性を高めて、市場性を持たせるのか、いっそ開発前の緑地に戻すか。方策が望まれる。 ●もっと住み心地のよい街になるべき(まず基本に戻るべき)交通(鉄道・道路)の便が、非常に悪い(反映意見全46件) | |

☆「素案」修正点一覧(見え消し版・該当部分のみ抜粋)

3 実現の方向性と取り組み

(4) 横浜ならではの魅力を創造し都市の活力を高めよう

横浜の活力を高めていくためには、活発な文化芸術活動や国際機関などの集積により、多様な人が集まり、交流することで、横浜ならではの魅力と可能性を創造することが重要です。

- 1 横浜の立地条件を活かし、空港、港、道路、鉄道が一体的に機能するまちをつくり、活力ある産業の集積ととともに、新たな産業や観光資源の創出と活用[※]に積極的に挑戦し、活力と競争力のあるまちを目指しましょう。
- 2 横浜の活力の源である港の魅力を高めるために、アジアや世界に貢献する物流機能だけでなくの強化ととともに、海に親しめる憩いの機能も高めていきましょう。
- 3 環境に配慮した事業活動や技術開発、消費が活発に行われるとともに、豊かな自然環境と、都市活動が持続的に共存できるまちを目指しましょう。
- 横浜の食を支える農業と都市生活を共存させ、大きな消費地を背景とした地産地消を積極的にすすめるとともに、安全で新鮮な農産物を生み出す都市農業が活発に行われるまちを目指しましょう。

(7) 暮らしやすい快適なまちづくりをしよう

高齢社会や人口減少社会のなかで、誰もが快適に暮らしていくためには、ライフスタイルや地域の特性に応じた住環境のなかで生活し、身近な地域で様々な活動ができることが重要です。

- 4 多様化するライフスタイルや、地域の特性に応じた質の高い住環境と効率的な交通体系が備わったが整ったまちを目指しましょう。
- 誰もが働きやすい就業の場と居住の場のほか、楽しみ、学び、憩いの場などが駅を中心に近接するコンパクトなまちを目指しましょう。
- 歴史的建造物や水・緑・文化などの地域の特性を反映しながら、都市の景観を守り、住民自らが活発なまちづくりを展開しましょう。

※「素案」の内容全文は、第3章に添付してありますので、そちらをご参照ください。
(2ページ後)